?的還都式典

問題に関し左の如き答解

新秩序建設に伴ふ租界返近廉陸軍省軍務局長は東近氏(時間)の質問に對近氏(時間)の質問に對

新政府成立を宣布

をなく、この漫都宣言によ 政府成立の宣言を設するこ がある。

率北政務委員會によつて欄 でに塩時政府の外院園體は でに塩時政府の外院園體は

興亞の北

華北三省新發足

以務委員會で統治

**興農合作** 

**参議府** 

會議可決

日施行

中央會基本金

交付公债三千萬圓發行

型関務總理大臣談要旨左の

として總額三千萬國を交付 社中央會に對しその基本金 社中央會に對しその基本金

# 農業政策の

## ▲ 中 政 會 日二第議

### △劉共第一路軍 △則共第三路軍 △則共第三路軍 △則共第三路軍 △則共第三路軍 本則共第三路軍 本則共第三路軍 本制共第三路軍 本制共第三路軍 本制共第三路軍 本制共第三路軍 本制共第三路軍 本制共第三路軍

地方側の要望を参

合に於てこれが

連に好轉し最近諸般の手渡 を完了、去る十一日の國務 院會議に於て原案通り興進 一二十一日の参議府會議を通 過したので献よ二十三日公 元、四月一日より施行する こととなつた、本法は全文

大の期待が寄せられてゐる が一大の期待が寄せられてゐる が一大の期待が寄せられてゐる が一大の期待が寄せられてゐる が一大の期待が寄せられてゐる

じく小切手振出契約をなっ

印花稅免除

張總理談

作社法制定に関する

は報告および討論事項左の に報告および討論事項左の は報告および討論事項左の

| 更に治安軍幹部養成機關と | 完に向ひつゝあり軍事勢力|
| 本書坊殿 | 一線勢力として著々軽備振 | 一線勢力として著々軽備振 | 一線勢力として著々軽備振

成しつムある 成しつムある

今申す限りではないし適

ス軍港再空 ッ空軍

辰產物增產

**産對策については所要整費を占める補刑國の農産物州** 五百萬國に達する大計畫 大計畫案決定

新事態完成せば

租界返還の用意あり

武藤陸軍省軍務局長答辯

たので、右案に最後的検討 の産業部業が一個決定を見 刑九時半より總理官邸に

佛後繼內閣

レ滅相に委囑

か二日の下でに租間を

事往來

イエ首相が後編内閣門組織

た、レイノー繊和はおそら は直ちに組閣工作を開始し は直ちに組閣工作を開始し は直ちに組閣工作を開始し

震民裕生會創立に開する臨 蒙民裕生會 臨時理事會

はあらう であらう であらう であらう であらう であらう であらう Section of the second

派、無黨無派の各階人士を業獨占の舊雲を脱し各黨各

本日朝刊四頁

府の政治指導の新使命に就國民黨政府の間にあつて政 され各級の因子を網鑑して は全くその使命を終り、新中央政治會議は政府樹立後 新政府の性格 により既に大陸明確で

撃行されるのである、なほ 形式のもとにその樹立式が 形式のもとにその樹立式が 機構して全民政治の實施を 機構してあるのであるから 常然政治面に於てもこれが 常然政治面に於てもこれが を提携して新秩序建設を分 と提携して新秩序建設を分

精術氏の重

もなく汪氏を中心とする報 青島會議の目的はいふまで

首脳との會談であつて、新 政府發足への各種議案が協 議され間會後の會議であつて、新 別スユースに運び、兼定期 外スユースに運び、兼定期

批准書交換 大人保定氏(安通部航空 大人保定氏(安通部航空 國際部)詞 | 船串直氏(旅順朝鮮銀行) |西島岬氏(道化諸負素)|同機ホテル

全倉橋※彦氏(秦天市實際 大都北京ル 本書記事務取締役)三國ホテル 本書根元三氏(東海産業 社長)同 本書根元三氏(東海産業 社長)同 本書根元三氏(東海産業 社長)同 本書根元三氏(東海産業 本書表元 一月青大郎氏(大連両を 本書表元 一月青大郎氏(大連両を 本書、大郎氏(大連両を 本書、大郎氏(大連一の 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏(大連一の 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏) 本書、大郎氏(大郎氏) 本書、大郎氏) 本書、大郎氏 (大郎氏) 本書、大郎氏) 本書、大郎氏 (大郎氏) 本書、大郎氏) 本書、大郎氏 (大郎氏) 本書、大郎氏 (大郎氏) 本書、大郎氏 (大郎氏) 本書、大郎氏 (大郎氏) 本書、大郎氏) 本書、大郎氏 (大郎氏) 本書、大郎氏 (

学島濫多氏(奉天籍負柔) 水田星次氏(同)同 川寨正吾氏(同)同

那ピ提携 e 超 國 林 宣 傳 部 長 强調

において英巡洋艦一隻、職工の一軍港を定襲、同港沖合 本窓軍は廿日夕再びスカプフ 宮軍は廿日夕再びスカプフ マー

二時零議府會議列席のため一旦休憩、更に半後穴 ちのがある ものがある

鹽澤少將着任

長谷川班長 南満視察へ 「北京廿日漫園通」 関連で煮任、直ちに宿舎高 高麗ホテルに入り在京記者 関連で煮任、直ちに宿舎高 高麗ホテルに入り在京記者

になったに選れるわけです。 一般、原の治療を早めるために…と 対象の治療を早めるために…と 対象の治療を早めるために…と が真ったの目的に現在エピオス

領の大半を占める大日本変清倉 副産酵母を獨占的に使用し

である。債選期限二十年である 印花税を免除することゝた

が選券そのものは強行せずして右に枠ふ勅令を公布した名補を興農公儀と名付けるりそれぞれ所定の手観を知

與へたときよりも、B複合體の形ピタミンは純粹のBだけを多量に動物試験でも臨床實験でも、Bの て興へた方が、山島以下 り相助けて相互の効果が相等 を増強する上に、遙 を増強する上に、遙

ることは動か し得ない事

厚に含有する點に於て他のからゆる天然物中で最も濃などのビタミンB複合體を 長を有するからです。混合製剤の企及し得ない特

劃期的進展

柏

生宣傳部

級支部當局等關係各機關が に自紙の態度に立ち舞っ に自紙の態度に立ち舞っ で新合作社常成に協力せら れたきことを要認してゐる な關係事項の具體的運營方 な関係事項の具體的運營方

十四條以下の强

イタリー汽船マリンサンド 日早朝清水港から大連入港 廿七番バースで荷役中であ るが、イタリー・ゼノア港 場大豆五千吨を積んで廿七

事項

今後合作社運

合作社定款變更の認

特產海路輸送

船舶の活

躍目覺し

視聴を覆いてるる ないかと見られ各方面の ないかと見られ各方面の はないかと見られ各方面の はないかと見られる方面の はないかと見られる方面の はないかと見られる方面の はないかと見られる方面の はないかと見られる方面の

を表

徵

に の政 (南京 日日 瀬 京 日日 瀬 和 年 日 日 瀬 和 年 日 日 瀬 和 年 中 日 日 瀬 市 民 は 日 日 瀬 市 民 は 日 田 瀬 地 紅 族 に ついて 大 要 表 の 政 で と 歴史

本の後光緒十六年革命 東氏はこの運動に馳せ参 東氏はこの運動に馳せ参 東氏はこの運動に馳せ参 東氏はこの運動に馳せ参 東氏はこので青天白日族な 東氏はこので青天白日族な 東氏はこので青天白日族な 東氏はこので青天白日族な 東氏はこので青天白日族な 東氏はこの運動に馳せ参 東氏はこの運動に馳せ参 東氏はこの運動に馳せ参 東氏はこの運動に馳せ参 東大は野が、一九〇五年水東方 を中域でもつて國族となし青天白日瀬地紅族 大生は青天白日族の意義を詳述して を中域において原を を中域でもつて國族となし青 大生は青天白日瀬地紅族 がの三色の意義を詳述して をの後光緒十六年革命 となった 大生は青天白日瀬地紅族 がの三色の意義を詳述して をの過程を裸な竹ればなら の温程を裸な竹ればなら の温程を裸な竹ればなら の温程を裸な竹ればなら の温程を裸な竹ればなら の温程を裸な竹ればなら

でまれている。 でまれている。 である。 であり、 である。 であり、 である。 できである。 である。 できである。 できである。 できで。 できで、 でをで、 でをで、 でをで、 でをで、 でを、 でをで、 でをで、 でをで、 でをで、 でをで、 でをで、 でをで、 でをで、 でをで、 でをで、

農事の改良強差を関う農事の改良強差を関うでは、 の加く事業と金融とが夫々の如く事業と金融とが夫々の如く事業と金融とが夫々の如く事業と金融とが夫々のから、 一種機を開きたいた。 事助に一種機を開きるものと言い。 事助に一種機を開きるものと言い。 事助に一種機を開きるものと言い。 事助合作社職員をはじめ省 事助合作社職員をはじめ省 等に解剖しても金融、農

の計員負擔 の計員負擔 を事業を兼 を事業を兼 の手敷

日大連出帆の豫定である、 日満伊通商條約の新設足を が会されて居る折柄嚢に同る が会されて居る折柄嚢に同る がのである。

る關心を持たれて居る機送並に歐洲市場開拓は顔

砂金鑛發見 珠河一帯に大 告

口

DD

目

この杯については御前もよく知つてゐる筈だ、こよく知つてゐる筈だ、こよく知つてゐる筈だ、こよく知つてゐる筈だ、ことと知るを輝かせて激勵、陳と双痛を輝かせて激勵、陳と決然と述べる感泣せずにと決然と述べる感泣せずに

日滿競売ともノー

・日から ッ對小

ス(男子用の) オランケット

ものがた七〇 ・七万でカッン 七〇フの肌

**暖客**出張家

一十一日愛聞 小口に 通問

一日發國通

通

豆山

興農併進

に通關

申

市

民

い声と

投稿歌迎

ことない、今日かからとない、今日かか

月上旬

旬決定

なので、来月上旬 を急ぎついるる を登案の決定を含ま なので、来月上旬

すをと早でか ご招す々終小

大に亘り開催、法案審 政委員會小委員會を既 なる暫行民籍法に關し なる暫行民籍法に關し

級

(二)

程濟器ではさきに輸入聯盟 を構成により對日輸入機構の 整備稅額を開つたが、これ に伴ひ、本年度生活必需品 を必要上康德五年一月一日 の必要上康德五年一月一日 でしめることとなり三月廿 世しめることとなり三月廿 世しめることとなり三月廿 でることとなった、右に開 大変の加き政府常局で対で公示 することとなった、右に開

言れの恩賜杯

五 足袋(地下足袋を含まず)七〇六 雑巻(乙)綿製のもの(内)其の他七一〇の(内)其の他七一〇の(内)其の他七一〇の(内)其の他七一〇十一段のもの及革と他物とを対したるもの(五)

を分たす)(イ)生のもの七一五 帽子類(乙)フェルト製のもの(巳)マースフェルト製帽で、ファーキングせざるもの)七一八 ゲートをもの) 七一八 ゲートをもの) 七一八 ゲート

九1除四毛

ラく雨製を 九一大のも 三七八も 四二十の 九カの七幣

上級者は下級
工作工が會社に對して無關
であることは許されない
なぜなれば吾々は會社あつ
なぜなれば吾々は會社あつ
なせなれば吾々は會社あつ 秋工を搾取 地上までが自己のため利己主 は、九までが自己のため利己主 は、九までが自己のため利己主 に、九昇齢及び賞興前に部下を 上級者に金品を贈り、何慮 上級者に金品を贈り、何慮

和雑貨(甲)陶磁製灰皿が郷鐵器一二二四 駅標に掲げざる陶磁器、 理なることになった 理事なで通關手線さを受ける結果 変に終開出張所を除くた の天津海関語局では四月 の天津海関語局では四月 の天津海関語局では四月 の天津海関語局では四月 の大津海関語のでは四月 の大津海関語のでは四月

200大綱を指示する本年期的とし併せて政府本年期の増産及び集貨を中

大臣施政大綱指示、一、 《午前十一特》一、經濟部 《午前十一特》一、經濟部 《午前十一時》一、產業 第一、企業 第一、企業 第一、企業

神の三日間、 関、関端、女郎 関、関端、女郎 本の三日間、 が表示ない。 本の一日間、 が表示ない。 で数点本ない。 での一日間、 の一日間、 の一日間 の一日間、 の一日間、 の一日間、 の一日間 の一日間 の一日に の一日に

この學際國、

省長會議日程

**歌身御奉公誓** 

C

| 一、民生部大 | 一、民生部大 | 一、民生部大 | 一、民生部大 | 一、民生部大 | 一、民生部大 

閉、協示

開催するが日程は次の一世八日は總理官邸にお

第天市協和會議男率公職の な協和會、市公署、警察服 等當局間で協議の結果警察 等當局間で協議の結果警察 等高局との連絡を一層緊密化 するため會員の一部を以て するため會員の一部を以て 警防隊を編成

奉天協和會義勇隊改組 んとするものである 喜多中將歸還

田ではないが、今後 は、大変那を去ることは前に を変形を去ることは前に を変形を去ることは前に ではないが、今後 ではないが、今後 ではないが、今後 ではないが、今後 ではないが、今後 ではないが、今後 ではないが、今後 思信して、軽く老け、 から起るのですから、 で用あるな服骸薬で治臓を では、縦えず緊ਆのぎを でも、下壁から近へかけての差させる、下壁から近るのですから、一般なでも、一部にの行えでも、脈筋のだったが悪くなるから起るのですから、紫紫脈脇の手を帯めるのですから、紫紫脈脇の手を帯めれるの手部だけでなく、紫紫脈脇の方を帯があるや脱紫で治療しなけれる。

三葉房

間から受呈いたします 「開放角の母」は で質の薬店にあります

な書業が歴化し間代が悪くなる 者が婚人病を「面の道」と稱へ をのも、季極着理に適つたこと 「「対け無から」と言ってこそ。血を測く、肌を強くしまよ。血は月年 てこそ、血を測く、肌を強くしなる。音楽 ら選られた「命の母」としてこそ。血を測く、肌 後の中に有害

※一次の保健第一の時、熱人管要

がキでお申込の方へ進生したといった。

の処きを売な歴録

る力では温温

血から を濟く肌を若 温く

策を軽く身を

に 海洋化に 最ら 市がた 東電気か 仍三に許を

### (日 匯 金) 新支 興亞舞臺 那 多 背 負

る輩青、陸大即院白

孫氏旗

先創國生製民がに黨

中央政治會議委員

租月の持主として 震察政権に で大十五歳、 震察政権に で大十五歳、 震察政権に で大十五歳、 ではいたした でいた。 でいた。

一上は自長として北支政治の中間長として今日にいたる本年更に新民會長を撤省合肥縣人大十四歳日本法政大學の出身で一九一七年新國會及政界を競技の際衆議院議長を務めの決事がある、蔣政権に援して名を設せられてから逮捕令を設せられてから強補令を設せられてからの議補令を設せられてからの職員として名を務めるの。 現臨時政府議政を獲省合肥縣人の政策として名を設せられてから、一時安徽省長を務める、蔣政権がある、蔣政権がある。 現臨時政府議政を務合して名を務め、
の政策として北支政治の中間会員、内政策委員を務める。 

方に関し折側が進められて 関密局間において左の調整 情な運送には困難なので極 情な運送には困難なので極

日滿郵便條約

んとする方針に基いたものである。 で表別所經營に關しては を見出す方針であるがは目下研 を見出す方針であるがは日下研 を見出す方針であるがは日下研

一(単位千

如民

細目一部を改訂 で支持つて居る 兩國間海 上遷送料の全襲又は輕減 現行一年毎を王年毎とし 統計基準をその中間年と する

一五同講習所へ申込まれた 者は左記要項にて大經路一 とゝなつたので、受講希望 で、受講希望

者は左記要

滿洲結核豫 明正是和

**能科第二期閉講** 

會役員 協會

集る井了委 初め各委員約二十名参集の初め各委員約二十名参集の 首都本部委員會 に が、 設立に 伴ふ で が、 設立に 伴ふ で の 人事に 関し

'會局

病は

工地し、五滿

生みの親

岩田龍幹事長勇退

がなな

泉主任、刑事は

ペル子さんば二十日夜兄 勇夫、同居の武井、長飛 氏らと新京キネマへ映 大で家へ戻り、眞ヶ暗が 人で家へ戻り、眞ヶ暗が 人で家へ戻り、眞ヶ暗が 人で家へ戻り、眞ヶ暗が 大で家へ戻り、眞ヶ暗が 大で家へ戻り、眞ヶ暗が 大で家へ戻り、眞ヶ暗が 大で家へ戻り、眞ヶ暗が 大で家へ戻り、眞ヶ暗が 大でなおららとした際、突 ではおららとした際、突 ではおららって抵抗した があられたので抵抗した で抵抗した ではなった。





1













ころ狂

正立 へた親孝行 本代 (二〇) さん=假名=かれた 子 (二〇) さん=假名=かれた ら死行當時の複様を詳細に

一大風民

る(大正十四年) 本ドイツ、メールを返還 さす(昭和十四年)

りの大家 は人も知る は人も知る 生生 がオイの 年齢を問はず、委細面談

ルヤ イスラーエヤフロー 35年式大型箱型8人業(ラデオ付 ピュックマスターリモンジン 85年式箱型7人乗 る帽子店 ツ ク 37年式60型箱型 オーバンコンマチーフル 3 6年式 (ラデオ付) スユードペーカ 37年式大型箱型

自 動車

合會資祉 3 <u>M</u> 五 日

から起ったことであること 計画観では右につき左の如

す武道使節

とになり過般 監督和久田氏が決定、總人に派遣慶祝の 段、副監督石川六段、角道で派遣慶祝の 段、副監督石川六段、角道では率就專案 並に富田體育科長、秘書旅 年を慶祝總勢百餘名渡日

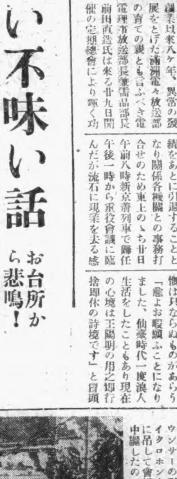
中国 (大学学院) (大学学院) (大学学院) (大学学院) (大学学院) (大学学院) (大学学院) (大学学院) (大学院) (大学院)

断行することとなり、 一部始終を自白で、その組織の整備擴 取調べに包み団容の顕著な發展を遂げ 事係でなだめず結核機防協會は最近事 署へ同行、村井 

新京 大和 通三 格安議る 格安議る 自 女店員募集 滿蒙旅 り度 館

吉岡 追加告别式は本二十二日正午十二時上太子堂に於て相答為可申候 友人總代 居田 天水田 定本 人總代 原田 又上 下 田 定本 此段生前辱知各位へ謹告仕りに十一日午前三時急逝仕り候妻ハギノ議入院加寮中の處三

等 11 三 整 一 一 1 宣人 がに



盛大な地鎮祭執行

▽新京櫻木町三五、康榛不 ケ所境申込まれたい で會員希望者は至急左龍二

會社(電話二一六三機木町三五、康徳不

右希望者は至急本人來談 豊 樂 路

常務理事三名、幹事若干谷



田組員等各方面の被招待者に二十一日春季皇監祭の住に二十一日春季皇監祭の住は三十一日春季皇監祭の住 核豫防協會

財闯法人に改組

細面設

多吳

完服

一番店

人

男

あつた「寫真は風獺祭」・理説跡を述べ安徽、鑑會で 計日午後十一時頃がイン課長さん暴れる 全市内満系制中等學校長會 全市内満系制中等學校長會

一、 英語・初級 A級 神田「英語讀本」第一条 ・獨逸語 初級 A級 新名 獨乙語讀本」 一、獨逸語 お級 A級 新名 獨乙語讀本」 一、獨逸語 B 演習用(古田一朝級小散集」 一、獨逸語 B 演習用(片田一朝級小散集」 一、獨逸語 B 演習用(片田一朝級小散集」 一、獨逸語 B 演習用(素語讀本」 英獨語學講習會

化立屋夢集 皮製



中古自動車解體品 自 使用不可能白動車 動車便利社 ヤジアタケシー製通 新京梅ケ枝町四ノーニ 五八八四

以中

平前十時より証前に於 | 君式を舉行したが、この他 | 一本の | 一

U語る 前田放送部長

に際し主事業營業部長として來滿、昭和八年九月一日 電本創立と共に理事兼放送 部長、その後需品部長を兼 の引退は各方面から惜しま

謝

治安部警務

雙陽縣長 馬

治安部指

**指紋管** 整

局司

理

二十一日午後一特中頃新市上北てるた李嗣公屯頭道街七北てるた李嗣公屯頭道街七北でるた李嗣公屯頭道街七北でるた李嗣公屯頭道街七北でるた李嗣公屯頭道街七北であた李嗣公屯頭道街七北であた李嗣公屯頭道街七北であた。 吉林省生れ新市場試会後 市前や映電館の人混みを 村用して整事を働いてあ をことを自白したが絵郎 をいてる をいてる をいてる をいてる をいてる

長醫學博士村川五郎氏其他一交社長平島數夫氏、副會長 新京献式庭球俱樂部 第軟二式 任會長に現滿鐵理事新京 回役員會和

を する一行を撤職、行を貼ん でにした【寫 値は曜 出 後の でにした【寫 値は曜 出 後の

理事

滿人掏摸捕る

貨物自動車賣却廣告 九三九年型 二噸積複座式 八氣頭フォード 九三九年型 二噸硅積 單座式 八氣頭國 產 九三九年型 二噸硅積 單座式 八氣頭國 產 入札場所 雙陽縣公署底務科 入札場所 雙陽縣公署底務科 人人 最 金 五○○圓 保 證 金 五○○圓

(雙陽縣公署內) 江

十五日附を以て大々御連領市上被處為2数に公 株 金 排 込 公 告 秋 金 排 込 公 告 相目人

日日日中央大学会会・十分「同会人」と

宋松接骨院 中央道士

骨

(前座春長) 町野古京新 一二 六 五 (3) 話電

事結用調查 新京興信公所 ●話◎川川西○

倚幽勉强。 覧店



兵隊さん五分割引致

二里野吉京新

がイントライン もののの をはいる。 のののでは、 のののでは、 のののでは、 ののでは、 のでは、 のでは、

方面行 使五時時十五分 所入時時十五分 所入時時十五分 所入時時十五分 分分分 一十十五分 一十十五分 一十十五分 一十十五分 一十十五分 一十十五分 一十十五分 一十十五分

質流品

報(の)IIII(co)器

五九五三③電 隴社日朝 五二温条二

サック属はし場く用を出す一ノー五路上町二ノー五路上町二ノー五路に設めたさざる品を出す二ノー五路に設めたさざる品を出す。 一大 高慣買入 高慣買入 高慣買入

一エフ

極一億軍

員出勉强

孃

力

交社

な尚高美優

三町殿 香三七七六(3)電

の天才である、モートは既に四歳の時ま もなく分らない時分 もなく分らない時分 たこともあつたし又 たこともあつたし又 たこともあつたし又 たこともあったし又 たこともあったしる に疼痛を感じると言 に疼痛を感じると言

月 融 金 及 話 電 價 版 密 秘 期 長 · 時 即 融 金 入

新湯・立案 イブ印書

見

三友社 政告の御用は

**吉頭は四雄8** 辨當 壽司の折詰 は一次 花

家庭用新型宣傳中特に兩極日型八十五圓を特價八十圓 好評特價提供効果宣傳賣出一中 婦の野慢 難 人の懸性 病 性神性脹 科 講義中硬 外 病弱風化痛科 一其脊淋耳

部品藥階一

に確認されたる最新最鋭の治療器であります超短波治療器とは驚異的卓効を全世界の醫學界 ムレントゲンにも勝り

特許工石

學校の卷 美しき星 人生の卷 戦争の卷 0 0 後。中。前 **新田**阿 大東 吉 毎1 屋 の處女が綴るの處女が綴るの處女が綴る 連載 純愛の小夜曲

かどり茶園 新東南新町二丁目 お茶道具は

お

٤

日都向、神経施、

柳树、肋膜炎

清水堂銭灸院

方面 10 加大時三十分 加大時三十分 大時三十分 大時三十分 大時三十分 大時三十分 大時三十分 大時三十分

滿鉄腐院東正門前

22日;

松仙髓疾 基病 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯 斯

二十萬圓のラヂュー

古標眼鏡の調子は如何ですか? 本物進を妨げます、當店に眼鏡全般 御相談下さい詳しく御説明申上ます 変別の調子は如何ですか?